

新潟市「にいがた未来ポイント」

地域に密着したバス IC カード「りゅーと」上でポイントサービスを展開。
環境対策と市民の健康活動を促進

本州日本海側では唯一の政令指定都市である新潟市。同市は、市民の健康促進と環境負荷低減を推進するための施策として「にいがた未来ポイント」を開始しました。これは、環境配慮につながる活動や健康づくりに関する活動へ参加することでポイントを付与するものです。このポイントカードとして、市民の多くがすでに所有している新潟交通株式会社発行のバス IC カード「りゅーと」やおサイフケータイ® 上の FeliCa ポケットが採用されました。サービス開始から 3 か月で参加者数は 1500 人。環境に配慮し、健康寿命の延伸を図る「環境健康都市」の実現に貢献しています。



新潟市

新潟市

古くから「みなとまち」として栄えてきた新潟市。平成 19 年 4 月 1 日には本州日本海側初の政令指定都市となる。高速道路網や上越新幹線により首都圏と直結しているなど陸上交通網が充実している。

<https://www.city.niigata.lg.jp/>

課題

マイカー利用率の高さや寒暖差が激しい気候などにより世帯あたりの CO₂ 排出量が全国平均の 1.5 倍に達していた。また、市民の平均歩数が少なく健康寿命が短い。これらのことを市民に意識づけ、解決することが求められていた。

解決策

健康や環境に関するイベントへの参加や体育施設を利用することによって、ポイントを付与することによって、CO₂ 削減と健康促進を意識づける。参加者の幅を広げるために、市民の多くがすでに保有しているバス IC カード「りゅーと」やおサイフケータイ® を採用。新たなサービスを付加することにより、「りゅーと」の普及拡大も見込まれ公共交通利用促進にも貢献。

導入効果

サービス開始から 3 か月でポイント参加者は 1500 人。手軽に始められることから、若い方や働き盛りの年齢層が増えている。今後さらに認知度を高めていくとともに、新たなサービスの提供も検討していく。

CO₂ 削減と健康寿命の延伸を図るための仕組みづくり

北陸地方最大の人口を有する新潟市は、CO₂ 排出量削減と市民の健康寿命の延伸に積極的に取り組んでいます。道路が整備されているため、市民の足として日常的にマイカーが利用されており、自動車による CO₂ 排出量が多い状況にあります。また、寒暖の差が激しい気候的な特徴や延べ床面積の広さなどの要因により、1 世帯あたりの CO₂ 排出量が全国平均の 1.5 倍に及んでいました。

また、マイカー利用によって平均歩数が少なく、健康寿命が全国平均より短い状況にありました。こうした課題を解決するために、誕生したのが「にいがた未来ポイント」です。

「市民の方に意識を持って取り組んでいただくことが、マイカーや家庭での CO₂ 排出量削減や健康寿命の延伸につながると考えました」と新潟市環境部環境政策課環境企画係 係長の小林由加子氏は語ります。

いずれの課題も解決するためには、市民の一人ひとりが意識を持ち継続的に取り組むことが求められるため、新潟市ではインセンティブ制度を検討することになりました。これまでも健康や環境対策に関するインセンティブ制度は、スタンプカードなどの方法で実施されてきましたが、参加者が固定化（特に 60～70 歳代の高齢者や女性）してしまうなど、当初の計画どおり参加者が増えないという課題がありました。



お客様自身で発券できる、ポイント交換用キオスク端末

地域に密着したバス IC カード「りゅーと」を採用

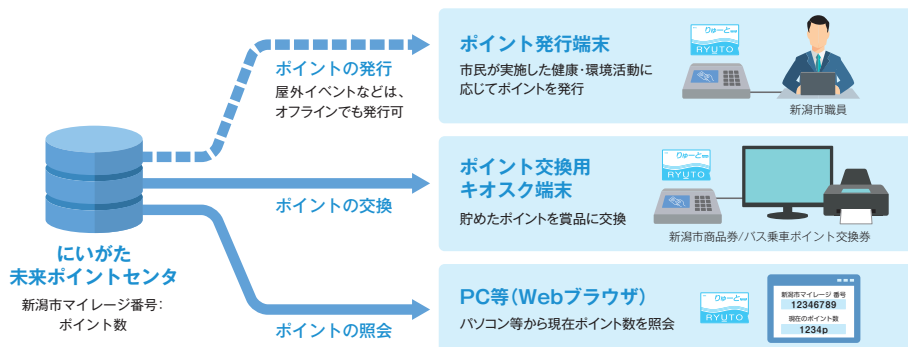
参加者の固定化という課題に対し、新規参加者を増やすこと、年代については、若い世代や働き盛りの世代にも普及させたいという思いがありました。

新たな施策を検討した結果、貯める楽しみが継続性につながることからポイント制度の採用を決定。使用する媒体については、利用者の利便性を勘案して、発行枚数が 10 万枚に及び、市内で最も普及していると思われる新潟交通のバス IC カード「りゅーと」と、おサイフケータイ®



新潟市
環境部環境政策課
環境企画係 係長

小林 由加子 氏



に搭載されたFeliCaポケットが選定されました。「健康と環境の観点から公共交通機関の利用を促進することも目的であるため、バスICカードの普及拡大にもつながり、相乗効果が期待できるという結論に至りました。また、すでに所有しているカードが利用できることにより、市民が手軽に始める『きっかけ』づくりができること、FeliCaポケットはシステム構築が容易なことも選定理由のひとつになりました」(小林氏)

健康や環境に関するイベント参加でポイントを付与

「にいがた未来ポイント」は、健康や環境に関するイベントの参加や体育施設を利用するごとに、FeliCaポケット搭載の「りゅーと」やおサイフケータイ®の内に5～100ポイントが発行されます。1000ポイント蓄積ごとに、協力店舗や区役所などに設置された端末で交換券を発券。新潟市共通商品券、またはバス乗車ポイント1000円分と交換できます。年間2000ポイントまで交換でき、発行日の翌年度末まで有効

です。9月現在でポイント発行端末は各区役所や市体育施設など54台、ポイント交換用キオスク端末は33台設置されています。今後は設置個所についても順次拡大予定です。

「個人情報の提出に抵抗感がある方も多いため、FeliCaポケットには、個人情報は保持しません。ポイント交換時に年代、居住区、性別などの簡単なアンケートにご協力いただき、そのデータを今後のサービス向上のために役立てていく予定です」(小林氏)

3か月で参加者は1500人 将来は制度拡大も視野に

2015年7月からスタートした「にいがた未来ポイント」は、9月末までの3か月でポイント参加者数が1500人になりました。発行ポイント数は約15万ポイントです。一番利用されているのは体育施設で、当初の目的である若い年齢層や働き盛りの参加者が増えている手応えを感じています。

「現在の『にいがた未来ポイント』は、環境と健



イベントやワークショップ、講座などに参加すると、その場ですぐにポイントを発行

康だけを対象にしていますが、FeliCaポケットは拡張性があるので、将来的には福祉、子育て関連についても対象にできると感じています。また、民間も含めた制度拡大の可能性もあります。今後の状況を見極めながら、より市民のためになるサービスを提供していきます」と小林氏は語ります。

「環境健康都市」を目指す都市像に掲げる新潟市。よりエコで健やかな暮らしづくりの実現に向け、これからもさまざまな施策を推進していきます。



カード発行者(新潟交通)のコメント

FeliCaポケットを搭載した当初は、新潟交通のハウスカード(バスやグループ会社間で利用するポイントカード)として活用することも検討しました。しかし、交通機関と街が一丸となって地域全体を盛り上げていきたいという思いがあり、「地域カード」として活用していただくためにFeliCaポケットを地域に解放することにしました。地域カードもいろいろありますが、まずはエコや健康など気持ちのよい活動に対しポイントが発行され、そのポイントを使って健康、エコにつながるバスを利用してもらう、地域で買い物することによる地域活性につながる好循環を目指しています。今後の用途としては、観光客へのクーポン、スタンプラリー、また子供の登下校時にタッチすることで、バス乗車を保護者に告知するサービスなどを検討していきます。



新潟交通株式会社
事業部 部長
竹内 正喜氏

プロジェクト関係各社と役割

- カード発行者**
「りゅーと」発行者:
新潟交通株式会社
- サービス事業者**
「にいがた未来ポイント」実施: 新潟市
- システム構築**
株式会社ソリマチ技研

● FeliCa はソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。 ● FeliCa、FeliCa ポケット及び FeliCa ポケットマークはソニー株式会社の登録商標です。 ● 「おサイフケータイ」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。 ● その他本事例に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文では TM、® は明記していません。

ソニー株式会社

プロフェッショナル・ソリューション事業本部
FeliCa事業部 営業部

〒141-8610 東京都品川区大崎 2-10-1

URL : <http://www.sony.co.jp/Products/felica/felicapocket/>

カタログ記載内容 2015年11月現在
FP2015-01-00